

平成28年度 授業改善推進プラン

教育目標

- ・関係法規
- ・教育基本法
- ・都、区教委の目標等

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動をし、強い心と健康なからだをつくる人

- ・学校、地域の実態
- ・保護者や地域の願い
- ・期待される児童像

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ☆「確かな学力の定着と向上」を図ることにより「意欲を育て自信をもたせる」教育を行う。
- ☆「白金の丘カリキュラム」に基づいた指導を行い、考え、伝え合う力を育成する。
- ☆学習指導要領に基づいた指導を行い、身に付けなければならない各学年の学力を確実に身に付けさせる教育を行う。

各教科の指導の重点を確実に児童に身に付けさせるため次の取組を行います

道徳教育の指導の重点	教科名	取組内容	生活指導の重点	
<p>○全教育活動を通して個々の児童の内面にうったえる指導の工夫を行う。</p> <p>○道徳的な心情、判断力、実践力を高める指導を行う。</p> <p>○地域・家庭との連携を通し、学校や地域を愛する心を育て、その一員としての意識を育む。</p> <p>○道徳的実践力や望ましい習慣を形成するために、家庭・地域の理解と協力を進める。</p>	国語	○自分の考えを伝えたり、友達の話を聞いたりする活動を重視するなど「話す・聞く」力を育てていく。○「書く」ことに興味をもち、意欲を高めるため、児童の実態に合った題材選びや指導法を工夫し、学びを深める場の工夫を行う。○漢字を書く力、言葉の特徴やさまじりに関する語彙力を育てるために、読み書きの練習を発達段階に応じ計画的に行う。辞書を使用する場面を設定する。	<p>○あいさつ運動</p> <p>・年間を通してのたてわり班によるあいさつ運動</p> <p>・日常的な指導</p> <p>○規範意識を育てる指導</p> <p>・ボール遊び、廊下歩行の仕方、時間を守る。</p> <p>○教育相談活動との連携</p> <p>・子供たちの変化に早めに気づき、早めに声かけをしていく。</p>	
	社会	○他教科と関連させ、表や写真等、資料の詳しい読み取りをする場面を多く設定する授業を工夫する。○見学や体験学習等で地図やグラフ、表に表す活動を行い、資料活用を機会を多く設ける。○公共の図書館やコンピュータなどを活用し、最新の資料の収集、活用や体験的な活動の充実を図る。		
	算数	○ドリル学習の継続等を行い、基礎的な学習の定着を図る。○既習事項をもとに思考していくことや筋道を立てて問題を解決する力を伸ばすため、ノートの記入の仕方やまとめ方など指導を工夫する。○自分の考えを図や表などに表し、友達に分かりやすく発表する場面を取り入れた授業を行う。○少人数指導の充実を図り、個の学力の実態に応じた指導を行う。		
	理科	○観察、実験、科学的な体験の充実を図る。観察・実験を行う際、具体物・写真・映像を提示し学習できるようにする。○実験や観察の視点を明確にし、既習事項を振り返りながら進めることで、技能面の向上を図る。○予想したことを検証する方法を考えたり、結果をまとめたりする表現したりすることを通して、科学的思考力を伸ばしていく。		
	生活	○地域にある施設や公園等を利用するなど、体験的な学習や自然に親しむ学習を充実させる。○栽培活動や動植物の観察を通して、自分と身近な自然との関わりが気付かせる。○自分と地域社会との関わり方について気付いたことを振り返ったり、意見交流したりすることを通して、気付きや考えの質を高めていくようにする。		進路指導の重点
	音楽	○様々な学習形態で言語活動を多く取り入れる。(ワークシート、ペア学習、グループ学習等) ○音楽づくりなどで既習事項を活用した表現の工夫などを行う。○器楽においては個別指導を行い技能面の差異が広がらないようにしていくとともに子供達同士の教え合う活動や音楽を発展させる活動を数多く行っていく。		<p>☆「自主・自立」「コミュニケーション能力」の確立を図る。</p> <p>・教科、領域の学習を通して、学ぶこと、働くことの意義や役割、およびその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。</p> <p>・将来の夢や希望をもてるような活動を全教科、領域で取り入れていく。</p>
	図工	○友達との関わりの中で、自分の作品が成長することを、さらに体感できるようにする。○作業過程の中で、区切りをつけ、友達の作品を見合ったり、活動の終末に相互の作品のよさを褒め称え合ったりする時間をこれからも継続させていく。		
	家庭科	○実践的・体験的な活動を充実させ、基礎的な技能や知識を定着させる。○制作や調理実習の際安全に学習できるよう、用具の取り扱い方、後片付けの仕方などのルールを徹底する。○家庭と連携し、よりよい生活を築こうとする実践的な態度を育てる。		
	体育	○体づくり運動や体力を高める運動を系統立てて指導する。○自分の課題が明確になるように、学習カードを使いあてをもって運動に取り組めるようにする。○友達と教え合って技に取り組んだり、友達のよいところを発表させたりするなど、学び合う授業形態の工夫を図る。		
	国際科	○楽しんで活動できるように、NTと協力して取り組む。○様々な学習活動に対し、児童が活動しやすいよう援助する。○十分な発話数を確保し、自信をつけさせる。○歌やゲームを通してターゲットセンテンスを楽しく身に付けることができるようにする。		
総合的な学習の時間の重点				
<p>○問題解決や探究活動への主体的な取り組み。</p> <p>○体験活動の重視</p> <p>○各教科との関連の重視</p> <p>○地域や学校に誇りをもつ心を育てる。</p>				

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>○年間17回の土曜授業の実施</p> <p>○行事の精選を図ることで、授業時数を確保する。</p> <p>▲中学校との教科学習を通じた連携</p> <p>▲中学校との行事を通じた連携</p>	<p>○スモールステップによる学習の積み重ねを行う。</p> <p>○問題解決的な学習内容を取り入れる。</p> <p>▲アクティブラーニングを取り入れた学習を取り入れ、児童の思考力・表現力の向上を図っていく。</p> <p>○算数少人数指導の充実</p>	<p>○小中9年間のカリキュラムと教科計画の作成と検証</p> <p>▲日常的に評価を行う。</p> <p>○児童、保護者への評価方法の説明と周知</p>	<p>▲「白金の丘カリキュラム」に基づく指導、「アクティブラーニング」を取り入れた授業の工夫</p> <p>▲「9年間の笑顔と真剣」をキャッチフレーズとし、児童一人一人が活躍できる力を育てる。</p> <p>○OJTの充実を図り、授業力を向上させる。</p>	<p>○保護者、地域とともにつくり上げる運動会、音楽会などの諸行事。</p> <p>▲学校だより・学年だより・HPなどによる、地域・家庭への情報発信。</p> <p>○ゲストティーチャーを積極的に取り入れる。</p>

